



症例掲載施設紹介

独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院 呼吸器科

西埼玉中央病院呼吸器科は、2016年7月より診療をスタートしました。埼玉県所沢市の人口は約34万人であり、高齢化率が非常に高い都市です。

国立病院として「臨床・研究・教育」という役割を果たすべく、患者様と日々向き合い、診療を行っています。

【臨床】

我々が理想とする医療は、「北海道から沖縄まで、患者様の病気は皆同じ。患者様が支払う診察料も同じ。何が違うのか？診療する側の心構えで変わる診療の質」です。そのため、診療に関して、最新の知識・見識を持ち、モチベーションを高く維持し、診療を行うことを目標としています。

我々は
わかりやすい説明・理解していただき
一緒に歩む医療
スピーディーな検査・治療
を目標に掲げて日々診療を心掛けております。

【教育】

初期研修から後期レジデントまで広く教育を行っています。呼吸器診療では、気管支内視鏡やトロッカー留置等多くの手技があり、先輩医師がしっかり指導し、教えていきます。

【研究】

主に臨床研究を取り組むこととなります。当院独自の研究も行うと同時に、日本全国にある研究グループへも多く参加させていただき、将来的にも患者様へ貢献できるような臨床研究へも積極的に取り組んでいます。





【カンファレンス】

埼玉医科大学呼吸器内科教授仲村秀俊先生(非常勤)に参加いただき、診療カンファレンスを行っています(月2回)。カンファレンスでは、1症例ずつ議論し、よりよい治療を検討しています。

【抄読会】

少人数のため、薬剤部の先生や興味ある内科医師も参加し、毎週水曜日に開催しています。抄読会では議論を行い、毎回、ブログへ記録として残しています。

<https://westsaitamaresp.blogspot.jp/search/label/Journal%20Club>

(HPのJournal Clubより閲覧できます)

ホームページ

当科では、独自にHPを開設して情報発信を行っています。学会発表や論文等の業績も随時アップしています。

<https://www.westsaitamaresp.org>

文責：瀧元陽一郎

日本内科学会雑誌

Journal of the Japanese Society of Internal Medicine

107

4

April 10
2018

特集

内分泌性高血圧：実地診療における クリニカルパールとピットフォール

Editorial

内分泌性高血圧：実地診療における
クリニカルパールとピットフォール

トピックス

- I. 実地医家のための内分泌性高血圧のスクリーニングのポイント
- II. 原発性アルドステロン症の診療アップデート
- III. Cushing症候群・副腎性subclinical Cushing症候群の診断と治療
- IV. 褐色細胞腫・パラガングリオーマの診断と管理
- V. 先端巨大症・甲状腺機能異常症における降圧治療の意義
- VI. 内分泌性高血圧症としての睡眠時無呼吸症候群の病態と治療

VII. 腎血管性高血圧のスクリーニングのポイントと管理

VIII. 女性の高血圧の病態と降圧治療—閉経後高血圧, 妊娠, 経口避妊薬—

座談会

内分泌性高血圧の実地診療のポイントと
将来の展望

特集の理解を深めるMultiple Choice Questions

シリーズ：地域医療を実践する内科医とは

シリーズ：診療ガイドライン at a glance

今月の症例

医学と医療の最前線

専門医部会